

平成28年度天王寺区 運営方針の実績・評価について

天王寺区区政会議
平成29年7月26日（水）

区の目標（何をめざすのか）

【区の将来ビジョン】

- みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- 未来を担う人材が育成されているまち
～日本一の文教「都市」の実現～
- 「命を守る政策」がしっかりと進められているまち
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち



以上の実現をめざした、平成28年度の実現状況を報告します

※[達成状況]中、太字数値は平成28年度末実績。（ ）内は平成27年度末実績。

経営課題 1 区民の声集約プロセスの強化

[戦略1-1:区民の声の区政への反映]

[達成状況]

[アウトカム]

区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う

区民の割合:

平成29年度までに **60%以上**

33.4%

(35.7%)

※全区平均32.4%

[具体的取組]

◆「区政会議」「区民モニター(区政評価員)」「あなたの声をつなげ隊」を通して、区民の声を区政に反映

【実績等】

- ・区政会議 2回
- ・区民モニター(区政評価員)調査回数 3回(1,442人回答)
- ・あなたの声をつなげ隊による意見聴取 随時(2,281人回答)

◆区政運営の“見える化”を意識した情報発信の強化

【実績等】

- ・広報紙において“区民の声の反映状況を特集” 2回
- ・区民の声の反映状況について、広報板に掲出 4回
- ・ホームページ、フェイスブックによる事業紹介



**[戦略1-2: 区民に身近な総合行政の拠点、安心・安全を担う
総合拠点としての区役所づくり]**

[達成状況]

[アウトカム]

過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合：
平成29年度までに **80%以上**

73.6%

(72.9%)

※全区平均73.5%

[具体的取組]

◆総合窓口機能の充実、安心・安全の拠点づくりの推進

【実績等】

・聴取意見のホームページ公開 6回 ・日常的に工営所・消防署・警察署など関係機関と緊密な連絡体制を構築

[戦略1-3: 改革を担い支える職員づくり、人材マネジメント]

[達成状況]

[アウトカム]

区役所を過去1年間に訪れた区民が、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合：平成29年度までに **80%以上**

82.5%

(77.4%)

※全区平均79.2%

[具体的取組]

◆「職員づくり、人材マネジメントにかかる基本方針に沿った取組の推進」による、改革を担い支える職員づくり

【実績等】

・「天王寺区役所 職員力向上基本プラン」による職員塾開催 5回

・全職員と行った「区長と職員の意見交換会」をもとに「やります天王寺区職員！100の取組！」を構築 等

経営課題1の総括

◇ 区政会議や区民モニター(区政評価員)、「あなたの声をつなげ隊」の積極的な活用により区民意見の聴取に取り組むとともに、聴取した意見を今後の事業展開や予算編成に反映させる区独自の「PD“L”CAサイクル(“L”=Listen)に基づく事業の方向性等の判断基準」により、「区民の声集約プロセス」の更なる強化を図りました。

◇ しかしながら、アウトカムは、目標値の5割を下回るなど、依然として伸び悩んでおり、「”区民の声”の施策等への反映状況の”見える化”」を意識した情報発信を、より一層強化する必要があると認識しています。

(参考) 区の様々な取組みに関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合：29.3%

(目標値：平成29年度までに60%以上) ※全区平均 28.6%

◇ 「地域の声を聞き取る経験」「区長との意見交換」「職員塾の開催」などを実施していますが、今後も行政職員としての”プロ意識”の徹底により、不断の市民サービスの向上及び不適切事務ゼロの実現に取り組みながら人材マネジメントを進めます。

経営課題2:「日本一の文教『都市』」をめざした 人材育成の取組と海外人材の活用

[戦略2-1:地域の未来を担う人材の育成]

[達成状況]

[アウトカム]

英語ディベートスクール参加者の満足度:

平成28年度 90%

100%
(94%)

[具体的取組]

◆「社会教育機会の充実」「実践的英語教育プログラムや元スポーツ選手による指導機会の提供」などによる地域の未来を担う人材の育成

【実績等】

- ・中高生向けインターンシップ 14名参加
- ・ジュニアクラブ(小学4年生から中学・高校生)
ボランティア等の活動 年5回
- ・英語ディベートスクール(中学生) 8回
- ・英語ディベート成果発表会(中学生) 1回
- ・英語体験活動(小学生) 2回
- ・レジェンド・イン・ハイスクール

大谷佐知子氏(元女子バレーボール日本代表)、
ラディオノフ・ユリアン氏(元男子バスケットボールブルガリア代表)による
区内公立中学生への指導 10回



[戦略2－1：地域の未来を担う人材の育成]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合：

平成30年度 **80%**

97%
(62.6%)

[具体的取組]

◆子どもの将来のための投資の促進、子育て関連情報の発信や子育て層へ交流機会の提供、保育所待機児童の解消

【実績等】

- ・子育てスタート応援券の交付
1,925名 利用率 71.2%(人数ベース)
- ・子育て情報アプリ「ぎゅっと!」の配信
ダウンロード数 2,292件
- ・子育て情報博覧会の開催
参加者 190世帯
- ・保育所の開設

保育園1ヶ所(ポピンズナーサリースクール天王寺:平成28年4月1日開園 認可定員100人)
※待機児童数の推移

平成26年4月 21人 ⇒ 平成27年4月 11人 ⇒ 平成28年4月 27人 ⇒ 平成29年 26人



経営課題2の総括

◇ 子どもの将来のための投資促進となるよう実施している子育てスタート応援事業については、さらなる利用率の向上を図るとともに、本事業がその後の教育投資につながるかなどを注視していく必要があります。

◇ 「日本一の文教『都市』」をめざし、区役所で取り組む未来を担う人材育成に関する事業は順調に執行できていますが、参加希望者を対象としたものであり、区内児童・生徒全体の人材育成を効果的に進めるためには、学校教育との連携をより一層進める必要があると考えております。

そのため、区に配付される校長経営戦略支援予算を活用し、学校長・保護者等から教育に関する課題・ニーズを聴取して、優先的に対処すべき課題・ニーズに予算を有効に活用すること、また区役所で取り組む事業についても、区内の教育に関する課題・ニーズを踏まえたものに改善していくことが必要であると認識しています。

経営課題3: お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉

[戦略3-1: 高齢者見守り体制の構築]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

独居高齢者等の見守り体制が構築されていると感じる区民の割合:
平成28年度 **80%**

39%
(48%)

[具体的取組]

◆「高齢者等見守り支援事業」による高齢者見守り体制の構築

【実績等】

- ・独居高齢者等見守りサポーター事業での訪問
新規対象281世帯を調査(うち見守り希望28世帯)
また過年度の見守り希望282世帯と合わせて310世帯を訪問
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業
要支援者の同意確認を1,217名に実施。581名が同意。



経営課題3の総括

◇ 今後も増加が見込まれる独居高齢者は、急病時、災害時の孤立化や孤独死等が懸念される一方、「要援護者見守りネットワーク強化事業」(全市実施)の展開により、希望者を対象に地域による平時の見守りを実施するなど、地域における見守り体制は着実に構築されつつあると認識しています。

◇ そのため、当該事業の周知を、より一層図るとともに、事業対象者を重度の知的障がい者や精神障がい者等に拡大し、地域との連携を深めつつ、平時及び災害時の避難支援活動に取り組むこと等により、要援護者一人ひとりの命を守り抜く地域福祉の確立をめざします。

経営課題4: より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求

[戦略4-1: 減災のための取組の強化(事前の備え)]

[達成状況]

[アウトカム](いずれも重点目標)

災害時の持ち出し品の用意率: 平成30年度 世帯数の70%

42.8%

(37.4%)

家具の固定率: 平成30年度 世帯数の70%

48.2%

(49.1%)

[具体的取組]

◆「出前講座の実施」「災害対策情報の発信」、各種防災啓発等による、減災のための取組の強化

【実績等】

- ・出前講座の実施 23回
- ・区の広報紙での特集 1回
- ・家具転倒防止器具の取付啓発(出前講座等で実施)
- ・個々のマンションへの啓発 6階以上の分譲マンション100棟
- ・地域防災計画の策定

天王寺、五条、桃陽、味原の各地域で概要版を作成、各戸配付。(28年度末現在、7地域で実施済)



[戦略4-2: 減災のための取組の強化(被災後の備え)]

[達成状況]

[アウトカム]

災害時避難所の場所を知っている区民の割合: 平成30年度 **90%**

82.0%

(84.9%)

[具体的取組]

◆「マンションでの被災生活の支援」「防災拠点の充実」「災害時避難行動要支援者支援体制の構築」による、減災のための取組の強化

【実績等】

- ・マンションの防災の取組状況や防災課題の共有会を開催 1回(34マンションが参加)
- ・個々のマンションへの防災対策推進の働きかけ 24回(全体会、23マンション各1回)
- ・防災拠点の充実
災害時避難所備蓄物資の追加配備 20ヶ所、福祉避難所の指定 2ヶ所、
寺院との協定による一時避難場所の確保 10ヶ所
- ・避難行動要支援者支援計画の策定、個別支援プラン作成に着手 全地域



[戦略4-3: 子どもの安全安心の確保]

[達成状況]

[アウトカム] (重点目標)

こどもの安全が守られていると感じる区民の割合: 平成30年度 **80%**

63.3%

(76.0%)

[具体的取組]

◆「子どもが被害に遭わないための取組」によるこどもの安全安心の確保

【実績等】

- ・安全教室出前講座 区内全小学校(8校)で実施
- ・こどもミニ防犯教室開催
- ・防犯カメラの設置 25台(平成25年度から累計75台) ※別途、公園設置分11台



[アウトカム]

区内鉄道駅周辺の放置自転車台数:

平成32年度 100台

93台

(187台)

[具体的取組]

◆「迷惑駐輪防止の取組」による、だれもが安全で安心して通行できる道路の確保

【実績等】

- ・「ゆめまちロード」の取組(マナー啓発とゴミ清掃など) 寺田町駅 2回
- ・放置自転車即時撤去 延べ回数:488回、延べ台数:自転車・ミニバイク 9,458台



経営課題4の総括

◇ 減災のための取組において順調に推移していないアウトカムがあるものの、区内85%を占める共同住宅での防災対策を促進するなど、区民一人ひとりの災害への備え（自助の備え）や地域の防災対応能力（共助の備え）向上に向けた取組を着実に進めています。今後、情報発信をさらに充実することにより、区民の自助・共助力の向上が図られ、減災のための取組の強化につながるものと認識しています。

◇ 子どものための安全安心の確保については、取組の進捗にもかかわらずアウトカムが順調に推移していないことから、今後、啓発とともに情報発信をさらに進めていきます。

◇ 放置自転車対策の取組については、アウトカムは順調に推移しているものの、自転車マナーの向上についての指標は順調に推移していないことから、今後、子育て世代を対象に重点的な啓発を進めていくことにより、区民の安全安心の確保を図ってまいります。

（参考） 防犯カメラの設置数 平成28年度末までに区役所として累計75台を設置

放置自転車数	平成24年度	252台
	平成25年度	209台
	平成26年度	152台
	平成27年度	187台
	平成28年度	93台

経営課題5: 戦略的なシティ・プロモーションの推進

[戦略5-1: 天王寺のまちのブランド力の強化]

[達成状況]

[アウトカム]

天王寺区の魅力発信・観光振興が十分にできていると感じる

区民の割合: 平成30年度までに 70%以上

67.0%
(63.4%)

[具体的取組]

◆ シティ・プロモーションの機運の醸成、天王寺区のまちのブランディングの強化

【実績等】

- ・イメージポスターの作成・配付 200部
(真田幸村ゆかりの地、奈良県聖徳太子プロジェクトメンバー、区内各所に送付)
- ・上町台地周遊マップ(28年度版)の作成・配付 15,000部
- ・区広報紙・ホームページによる情報発信 随時
- ・「天王寺真田幸村博ー夢のまた夢ー」開催
(天王寺観光協議会と共催)
- ・大阪夏の陣激戦地スタンプラリーのPR
(てんのうじ観光ボランティアガイド協議会主催)
- ・「野沢菜」伝来記念碑(野沢温泉村建立)のPR



経営課題5の総括

◇ 天王寺区の有する豊富な歴史的・文化的資産を活かして、区の魅力を内外に発信するため、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映に向けて整備を行った「真田幸村めぐルート」などにより、さらなる魅力的な情報発信に努めるとともに、民間主体で実施した「真田幸村博」など、住民主体の魅力的な情報発信活動をサポートできたと考えます。

◇ 平成29年度は、熊野古道や平成33年に没後1400年を迎える聖徳太子などの歴史・文化資産を活かし、住民主体の天王寺区の魅力発信の取組をサポートすることで、多くの人が集い、にぎわいと活力あふれるまちの創出をめざしてまいります。

経営課題6: 区政運営基本方針に基づく 「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」

[戦略6-1: 豊かなコミュニティの実現]

[達成状況]

[アウトカム]

身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合: 平成29年度までに 65%以上

46.3%

(59.7%)

※全区平均48.7%

[具体的取組]

◆「人と人とのつながりづくりの促進」を図るため、地域における見守り活動等の取組の紹介とアンケートの実施

[実績等]

- ・区広報紙での活動紹介 11回
- ・イベント・活動の参加者や運営スタッフのつながりの大切さを伝えるとともに、イベント等について効果を図るため、アンケートを実施



[戦略6-2:多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現]

[達成状況]

[アウトカム]

校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民(地域活動協議会を知っている人に限定)の割合:
平成29年度までに 50%以上

81.3%

(84.9%)

※全区平均80.1%

[具体的取組]

◆「地域活動協議会を核とした自律した地域運営」「校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充」を図るための支援

【実績等】

- ・公金の使途を公表 3回(区HP1回、区広報紙2回)
- ・会計説明会の実施 1回
- ・地域活動協議会情報の発信支援 9地域
- ・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページや印刷物により紹介
- ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載



[アウトカム]

社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数：

平成29年度までに 1件以上

5件
(5件)

[具体的取組]

◆「地域資源が活用されやすい仕組みづくり」「地域資源の循環による継続的な地域活動の促進」を図るための各種取組の実施、および「本市事務事業の社会的ビジネス化」の推進

【実績等】

- ・地域や社会に存在する資源に関する情報についてホームページ上の情報を更新
- ・ホームページ上で地域資源を照会していることを、区広報紙に掲載
- ・地域活動協議会に対して、天王寺区まちづくりセンターを活用し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリット、地域イベントでの自主財源確保の事例等に関する情報交換会を実施 1回
- ・社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施 5件
清掃・除草業務（五条公園、上汐公園、東高津公園、寺田町公園）
放置自転車対策（JR寺田町駅周辺）
- ・天王寺区での社会的ビジネス化の具体例をホームページで紹介



[戦略6-4:地域公共人材の充実と中間支援機能の活用]

[達成状況]

[アウトカム]

多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合:

平成29年度までに 90%以上

80.9%

(92.3%)

※全区平均81.0%

[具体的取組]

◆「地域公共人材の充実」および「活用」の促進、「中間支援組織」の効果的な活用

【実績等】

- ・区ホームページに、地域公共人材に関する情報や検索するサイトを掲載、地域活動協議会に対して地域公共人材の役割等を紹介
- ・地域活動協議会の具体的活動の支援 9地域



地域ふれあいまつり(桃陽)



観桜会(生魂)



ふれあい喫茶(真田山)



夏休み体験教室(天王寺)



子育て支援サークル(桃丘)

各地域の活動



歳末夜警(味原)



防災キャンプ(五条)



清掃活動(大江)



健康体操(聖和)

経営課題6の総括(取組み成果と今後の課題)

◇ 活力ある地域社会づくりに向け、区広報紙やホームページによる地域活動とその担い手及び地域団体の紹介、中間支援組織を活用した地域への各種支援により、地域住民の地域への関心を高めることや地域の自律的な運営及び情報発信などについて、一定寄与することができたと認識しています。

◇ しかしながら、様々な活動主体の連携・協働による活動の推進や地域公共人材(ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材)が活躍していると感じている区民の割合は低迷しており、平成29年度までの目標数値との乖離が大きい現状があります。

(参考)・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民(地域活動に参加している人に限定)の割合：6.4%

(目標値：平成29年度までに50%以上) ※全区平均 9.3%

・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：19.9%

(目標値：平成29年度までに50%以上) ※全区平均 22.4%

◇ 少しでも乖離を埋めるように、様々な活動主体の連携・協働による活動事例について掘り下げた広報を行っていくなどの取組みの見直しが必要であると認識しています。

自己評価結果の総括(まとめ)

★1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

みんなの『思い』が区政に反映されているまちをめざし、区政会議や「あなたの声をつなげ隊」を中心に、区民の意見を積極的に聴取・集約し、施策展開や予算に反映させることができました。

- ・子育てスタート応援事業
- ・地域における自助・共助力の向上支援事業
- ・こどもの防犯に向けたまちづくり事業(防犯カメラ設置)
など

自己評価結果の総括(まとめ)

子育て世帯が多いといった地域特性に合わせ、乳幼児期から子どもの体験・教育機会等を提供する「子育てスタート応援事業」は4年目を迎え、利用率は堅調に推移しているものの、さらなる利用率の向上が課題です。教育投資の促進など事業目的を踏まえて効果を検証しつつ、引き続き、利用促進に取り組めます。

喫緊の課題となっている待機児童対策については、新たに保育園を開設したものの、待機児童の解消にいたっていないため、全市的な取組と連携しながら、区内未利用地などの市有財産の活用について主体的に検討し、優先的に保育所整備に活用することにより、平成30年4月時点の待機児童「ゼロ」をめざします。

自己評価結果の総括(まとめ)

区内85%を占める共同住宅での防災対策を促進するため、マンションの管理組合等を対象とした学習会を初めて開催するなど、区民一人ひとりの災害への備えや地域の防災対応能力向上に向けた取組を着実に進めることができました。今後は、個別のマンションへの具体的支援に取り組んでいくなど、情報発信をさらに進めていきます。

民間主体で実施した「真田幸村博」など、情報発信活動をサポートすることにより、シティ・プロモーションの機運が着実に醸成されています。今後は、周辺区等とも連携しながら、熊野街道や平成33年に没後1400年を迎える聖徳太子などの歴史・文化資産を活かし、住民主体の天王寺区の魅力発信の取組をサポートすることで、多くの人が集い、にぎわいと活力あふれるまちの創出をめざします。

自己評価結果の総括(まとめ)

★解決すべき課題と今後の改善方向

高齢者、要援護者の増加が見込まれる中、上町断層帯を抱える当区では、区民の安全・安心の確保が最重要課題であります。

これまでも、「出前講座」等による積極的な啓発やマンション住民への働きかけ、区独自の備蓄品購入など、防災拠点の充実に重点的に取り組んできました。

しかしながら、阪神・淡路大震災や東日本大震災からの時間の経過による防災・減災への関心の低下から、「災害時の持ち出し品の用意率」や「家具の固定率」等のアウトカムは、依然として目標を大きく下回っています。

自己評価結果の総括(まとめ)

予期せぬ災害に備え、“命を守る”自助、共助力の向上は喫緊の課題であることから、引き続き、注力して取り組むべきであると認識しています。

マンションや医療機関、寺院など、これまで連携の薄かった新たな地域資源との連携により、地域の力を結集して「防災力」の向上に重点的に取り組むとともに、高齢者、要援護者等の見守りや支援体制の構築を通じて緊急時に助け合える“地域のつながりづくり”に取り組むなど共助を促進することにより、だれもが安心して暮らせる“住みたいまち”をめざします。

また、下寺町地域の交通手段確保事業については、利用者を限定したタクシー事業を見直し、民間事業者との共同実施による下寺町を經由するバス運行事業を新たに構築し、利便性の向上に取り組めます。

《参考》平成28年度 決算見込額 ()カッコは当初予算額

経営課題1 区民の声集約プロセスの強化

○区政会議	9万円	(37万円)
○区民モニター(区政評価員)	120万円	(123万円)
○あなたの声をつなげ隊	6万円	(21万円)
○広報紙等	1,415万円	(1,562万円)

経営課題2 「日本一の文教『都市』」をめざした 人材育成の取組と海外人材の活用

○中高生向けインターンシップ	152万円	(157万円)
○天王寺区ジュニアクラブ	30万円	(33万円)
○英語ディベートスクール・体験活動	295万円	(300万円)
○レジェンド・イン・ハイスクール事業	39万円	(51万円)
○子育てスタート応援券	953万円	(1,273万円)
○子育て情報アプリ「ぎゅっと！」	150万円	(146万円)
○子育て情報博覧会	7万円	(24万円)

経営課題3 お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉

○独居高齢者等見守りサポーター事業	486万円	(585万円)
○地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	1,266万円	(1,377万円)
○下寺町地域の交通手段確保事業	31万円	(140万円)

経営課題4 より多くの人の「災害対策リテラシー」を 向上する事業の追求

○区民巻き込みオペレーション(出前講座)	39万円	(32万円)
○災害対策情報の発信	17万円	(27万円)
○家具転倒防止器具取付啓発事業	10万円	(10万円)
○地域防災計画の策定	128万円	(183万円)
○マンションでの被災生活の支援	3万円	(3万円)
○防災拠点の充実	106万円	(138万円)
○防犯カメラの設置・防犯教室	333万円	(377万円)
○迷惑駐輪防止の取組(ゆめまちロードなど)	13万円	(7万円)

経営課題5 戦略的なシティ・プロモーションの推進

○天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業	148万円	(170万円)
---------------------	-------	---------

経営課題6 区政運営基本方針に基づく「大きな公共を担う 活力ある地域づくり」

○地域活動協議会への財政的支援	1,594万円	(1,660万円)
○新たな地域コミュニティ支援事業	1,377万円	(1,387万円)